



大議発第78号
令和5年11月27日

大江町長 松田清隆 殿

大江町議会議長 宇津江 雅 人



一般質問について（通知）

来る12月5日からの令和5年第4回大江町議会定例会において、下記のとおり質問がある予定ですので、あらかじめ通知いたします。

記

質問者	質問事項	質問の要旨
菊地邦弘 〈一括質問〉	次期大江町長選挙 に向けての考えは	<p>令和2年2月の町長選挙において無投票当選の栄に浴し、松田町長が誕生した。多くの町民が、行政経験が豊富で、年代が若く、爽やかな印象を持つ松田清隆氏に大きな期待を持った。しかし、就任間もなく、世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症の恐怖にさらされ、行政需要はコロナ感染症への対応が優先したと言っても過言でなかった。</p> <p>また、同時に豪雨災害等への対応など、これまで経験したことがない事態の中でも、置かれている超少子高齢化時代に端を発した人口減少、疲弊した飲食業者への支援、衛生面での手厚い補助など、行政対応は概ね良好だったと評価したい。中でも、あかざクリニックの誘致は、ワクチンの接種を始めとする医療機関の不足に一矢を投じた素晴らしい判断であったと理解している。</p> <p>一方、懸案であったテルメ柏陵の石風呂改修工事、道の駅おおえ改修工事や、柏陵地区への大規模公園の整備など、内外に大江の魅力を発信する大型事業に着手していることは大いに評価しているところである。また、社会福祉、農業の振興、教育施設の充実などの分野で、他市町村に先駆けての対応は、町民からの評価も高いところであると理解している。</p> <p>松田町政4年間の町民の評価はそれぞれであるが、私は町民に寄り添い、大江の良さを県内問わず全国に発信していることは、一議員として意を</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>同じくするものであり、努力と行動に感動を覚えるところである。しかし、現在の大江町は、超少子高齢化に端を発した出生児の極端な減少、町内純生産額の大幅な減少、JR 左沢線の存続問題、公共施設などの老朽化、時代の変化に対応した教育の問題、社会福祉のさらなる充実など、大きな行政課題が山積みしていることは言うまでもない。このような極めて重要な時期に、年が明けた令和6年2月に町長選挙が行われる。</p> <p>次期大江町長選挙に向けての考えを伺いたい。</p>
	<p>人事管理の適正化について</p>	<p>めまぐるしく変化する社会情勢、深刻化する超少子高齢化と人口減少、先に発表された町内純生産の減少、時代の要請に対応する教育環境の整備、年々増加する指定管理料、福祉環境の充実強化策、耕作放棄地の増加など、多岐にわたる行政課題と町民の要望に応えるため、行政執行部は、日々努力していることは重々理解しているが、執行機関の人事管理について慢性化し、新鮮味が感じられないと思うのは私だけだろうか。</p> <p>人事管理に関することは、町長の専権事項であることは百も承知しているところであるが、あえて4年間議員をさせていただいて、申し上げたいので、町長の所見を伺う。</p> <p>言うまでもなく役場職員は、行政のプロとして町行政の執行を掌り、町民への奉仕者としての責務を担う。故に、1にも2にも町民の福祉を考え仕事に邁進しなければならないと理解している。とりわけ行政需要が増大し、その対応も日進月歩変化するのが近年の動向であると思っているこの頃である。</p> <p>故に、行政機関は日々研鑽し、新鮮さを前面に出し、前例を踏襲するといった考えから脱出するべきであると考えます。</p> <p>町職員は、行政のプロとしての力量は高く評価している。しかし、前例を踏襲し、穩便にとは言わないが、そういう風潮が少しでも感じられたら、町民からの評価も一変するのではないかと。</p> <p>また、職場が変わることにより、職員も新鮮さが生まれ、仕事意欲の醸成にもつながるのではないかと。失敗は許されない行政職であり、年齢的な課題もあると考えるが、思い切った人事管理・異動を望むところである。町長の所見を伺う。</p> <p>行政の各種機関の委員についても、長くその職</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>に就くことにより、これまでの経過や課題問題点などを把握して、頑張っていたに敬意を表します。一方で、変化する時代への対応、新たな視点からの提言なども必要と考えるが、町長の所見を問う。</p>
<p>土 田 勵 一 （ 一問一答質問 ）</p>	<p>町産農産物のブランド化の進捗状況と今後の「すもも団地」の構想について</p>	<p>町産農産物のブランド化の進捗状況と「すもも団地」の構想について町長に伺います。私は、家庭菜園での野菜作りさえやったことがありません。全くの素人ですので質問内容に不備があるかも知れませんがご理解いただきたい。産地間競争や地域間競争に勝ち抜いて行く為には、農産物を主産業とする町として新規就農者の移住者数を増やすことと、農産物の品質、生産、所得の向上を図るために、大江町産農産物の『ブランド化』は必要不可欠と常々思っております。また『ブランド化』によって、新規就農者の移住定住促進のPRや啓発も容易になり、新規就農者の移住者を増やすことにも繋がるものと考えられます。更に、大江町のPRにも大きく貢献できるものと思っておりますし、大江町の更なる発展に繋がっていくと信じております。農産物を主産業とする町として、大江町産農産物の『ブランド化』は必要不可欠であり施策として強く望むところであります。本町の農業を支える担い手の確保や、農地の集約化や農産物の販売対策強化などについては、強力で進めるべきと認識しております。「意欲ある多様な担い手の育成と確保」、「活気あふれる農村の創造」、「魅力ある稼げる農林水産業の追及」が最も重要であります。すももを主とする新規就農者の方々が耕作している農地面積は増えており耕作放棄地対策として、一翼を担っていただいておりますことにお礼申し上げますと共に感謝しております。また、すももの『ブランド化』に積極的に取り組んでいただいたことが、生産者の所得向上に繋がっていると思っております。</p> <p>今後もJAさがえ西村山すもも部会と「おしんの会」などの関係団体と連携し、大江町産すもも並びに農産物の『ブランド化』を推進し、更に発展されますよう強く望んでおります。これまでも頑張っていたに敬意を表して成果を上げております、JAさがえ西村山すもも部会1市4町の生産高の状況について伺います。また、現在の</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>『ブランド化』の進捗状況と、新たな事業の「すもも団地」の今後の構想や取り組みについても伺います。</p>
<p>伊 藤 慎一郎 〈一問一答質問〉</p>	<p>大江町産の農林産物の増産、出荷拡大について</p>	<p>山形県一人当たりの所得は東北で一番になったとのことでした。その中で大江町はどの位なのか、豊かさのバロメーターなので伺います。</p> <p>サラリーマンの給料がなかなか上がらない中で、わが町では農林産物の出荷を拡大することが町全体の所得向上の底上げに繋がるのではないかと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>大江町産の農産物、林産物は、ほとんどが町外に出荷され金として町に入ってくるわけですからその額が多いほど町が潤うのです。</p> <p>その金の流れが町内で回れば町の活性化に繋がるのではないかと思います。そこで商工会の方々も町内で使ってもらえる工夫も必要かと思えます。今は車社会なので品揃えが多いところ、安いところに車で直ぐに行ってしまう。いろいろなイベントなどを加えながら攻めの商売をやられてはと考えます。</p> <p>そこで提案です。農産物、林産物をどのように増産出荷を結び付けるかです。まずは人材の確保です。新規就農、新規林業家などを推し進めてはと考えます。それには行政の力が必要不可欠です。荒廃農地が増えていく中、そして出荷を待っている杉林などがかなりあるのではないかと思います。そこで出荷に結び付ける人材の確保です。現在伐採出来る様な杉林はかなりあるかと思えます。伐採出来る杉林はどの位ありますか。新しい道の駅おおえは大江町産の農林産物の出荷拡大に繋がるのではないかと思います。如何でしょうか町長考えを伺います。</p>
<p>藤 野 広 美 〈一問一答質問〉</p>	<p>新道の駅おおえの目玉となるものは</p>	<p>① 道の駅おおえの工事完成が令和6年6月末、準備期間を入れてオープンは9月となっています。</p> <p>現場の進捗工程をしっかりと把握していただき、遅れることのない工期内の完成を見守りたいと思います。</p> <p>そのことを踏まえてお伺いします。道の駅おおえの工事が、起工式後1ヶ月近く遅れての着工となったようです。実施工程表に添った工事が進められているかと思えますが、現在の工事</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>の進捗状況並びに工事出来高はどのくらいなのかお伺いします。</p> <p>② 10月3日の議会全員協議会で提示された資料の概要の中で、年間指定管理料1,300万円の算定内訳が提示されており、初年度の令和6年度は800万円という説明がありました。それを受けて10月16日の臨時議会では、大江町道の駅の設置及び管理に関する条例の制定について、並びに債務負担行為補正として、令和6年度より令和10年度まで限度額6,000万円の2つの案件が可決されました。</p> <p>令和6年度の指定管理料7か月分は、令和6年9月から令和7年3月までとなると思います。オープンまでのスタッフの賃金や仕入れ等の準備金が必要になるのではないかと考えます。これらに係る費用に対しての町からの補助等も必要になる場合があると考えますが町長の考えをお伺いします。</p> <p>③ 温泉と柏陵広場の公園、そして道の駅、点が線で繋がって賑わうように仕掛けをしていかなければならないと思いますが、目玉となるものも必要だと思います。「道の駅おおえに行くところなものがあんだど」とか「こんなものが見られるんだど」というような目玉となるものがあれば、来客増に繋がるものと思います。目玉となるものはどのようなものをお考えかお伺いします。</p> <p>更に「道の駅おおえ」の名称を多くの方に親しまれる道の駅になるように、愛称を公募してみたいかと思いますが、町長の考えをお伺いします。</p>
	<p>新道の駅おおえと健康温泉館の連携を</p>	<p>今年7月7日にテルメ柏陵健康温泉館石風呂がグランドオープンしました。</p> <p>コロナの影響で利用客数が減り、収益が減少した時期もあったと思います。</p> <p>私も時々利用させていただいておりますが、子供連れの若い方が多くなっていると感じております。</p> <p>また、バスツアーの方が健康温泉館に立ち寄り、食事・買い物・温泉利用をいただいている状況も見受けられます。</p> <p>スタッフのいろいろな仕掛けがあり利用客増に繋がっていると思います。</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>現在の利用客数は、コロナ前と同じ位に戻っているのかをお伺いします。</p> <p>また、新しくオープンする道の駅おおえの利用と温泉利用券をセットにするようなことも良いのではないかと考えますが、町長の考えをお伺いします。</p>
<p>大 沼 清 人 〈一問一答質問〉</p>	<p>新道の駅の完成にあわせての町内への観光人口増加策について</p>	<p>来年秋には新道の駅が完成し、営業がスタートする運びとなる。</p> <p>来店に向けての導線の誘導策で質問したい。</p> <p>県外客は、ほとんど寒河江のインターチェンジから新平塩橋経由が考えられるがPRは現状の「耕せ大江」の看板だけでよいのか、あるいは山形市方面から考えるとヤマザワ西店の交差点にも必要ではないかと思われる。</p> <p>なにより大事な視点は、道の駅の来客に大江町内を回遊してもらい、大江の観光資源を十分に堪能していただく事である。結果的に新施設の波及効果から県内外の購買客に、大江のファンになってもらい経済的にも町民が潤う戦略を再度構築するチャンスでもある。</p> <p>観光で地元で経済効果を得るには</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 来訪客数を増やす 2. 宿泊客を多くすることで客単価を上げる 3. 町内滞在時間を長くさせる <p>がカギとなる。</p> <p>その第一歩として、新最上橋のたもとに来訪者向けとして大型の看板設置が必要と考える。</p> <p>目的は大江の玄関口に、来訪者を我々町民が歓迎するメッセージをアピールするためである。</p> <p>素材としては西山杉を使用し、文言として「国選定重要文化的景観のまち大江へようこそ」等がふさわしいかと思慮する。</p> <p>さらに言えば県道大江西川線の貫見・沢口間の橋に動物などの木製のモニュメントが複数設置されており、地元住民からも高い評価を受けている。新最上橋の大江側にも作成してはどうか？（おしん像・動物等）</p> <p>又ウェブ上では観光協会のHPで施設や店舗の紹介があるが、もっと充実させ例えばスマホから歴史コースや絶景半日コース、七軒までの縦断一日コース等ルートも含め様々な情報提供の手法が考えられる。（例；QRコードからの自動音声案内等）</p>

質問者	質問事項	質問の要旨
		<p>そのためには本郷七軒地区の歴史的文化的観光拠点の案内整備が必要と思われる（諏訪原の古戦場・小新神代カヤ・松保大杉・貫見盾・大頭森等）</p> <p>町内を俯瞰すると現在宿泊場所としては、民間の左沢温泉と玉川旅館、柳川温泉しかない。</p> <p>現在柳川温泉では夕食が提供されておらず、温泉宿での宿泊の楽しみが半減している。昔ながらの伝統料理で他の施設との差別化も十分可能と考える。</p> <p>冬の花火大会や山菜祭りなど開催しているが、今年度の事業計画の進捗状況を質問したい。町としてより積極的に知恵を出して柳川温泉をPRする意図はあるのか、町長の考えを伺う。</p>
<p>関野幸一 〈一問一答質問〉</p>	<p>本町の小中学校での英語教育について</p>	<p>今年度、委員会の視察で英語教育の先進地の学校で授業を見学してきました。本町も県内では英語教育については、ブリティッシュヒルズでの研修をはじめ、先進地的だと思っておりますが、今後は町内の先生方にも、ぜひ先進地の学校の視察研修をしていただき、本町の英語教育のさらなる充実のため頑張ってください。</p>
	<p>鳥獣被害の対策と、これからの被害予防について</p>	<p>今年度は、熊の出没が例年になく多い。これまでのような駆除や防衛策では、果樹などに大きな被害や町民にも危害があるかもしれない。国では有害鳥獣に指定しての駆除なども考えているが、大江町をはじめ西村山地区、また、山形県として、熊の個体調査を早急に実施し、計画的な間引きなども考えるべきと思うが。</p>
	<p>左沢駅及び駅前広場をもう少し楽しめるようにしては</p>	<p>左沢駅に最上川の築にかかった大鰻や、モクズ蟹などの展示、駐輪場の一角に山形地鶏なども展示飼育をしてはどうか。駅のさらなる整備と一緒に進めれば、左沢駅の魅力がアップするはずでは。</p>